

# 天特進路だより

第2号

令和4年9月30日 発行

天竜特別支援学校進路支援課

## 令和4年度 中学部進路学習会について

7月15日(金)に、3校の高等学校の先生方にお越しいただき、中学部進路学習会を行いました。全日制の静岡県立浜松湖北高等学校佐久間分校、定時制の静岡県立浜松大平台高等学校、通信制の学校法人KTC 学園指定サポートキャンパスKTC おおぞら高等学院浜松キャンパス、それぞれの学校の特徴や授業内容などを教えていただきました。三つの学校の違いをパワーポイントで分かりやすくお話いただいたり、パンフレットを見ながら特色ある授業の様子を説明していただいたりしました。それぞれの学校の特徴を知ることによって、今後の進路を考える上で参考になりました。



<浜松湖北高等学校 佐久間分校>  
少人数で、個々の学習進度に沿って授業をします。



<浜松大平台高等学校>  
I、II、III部と異なる時間帯で、自分の生活ペースに合わせて学べます。



<KTC おおぞら高等学院>  
進学や就職に向けて、多様なコースが設定されています。

## 令和4年度 職員進路研修について(報告)

例年、夏休みに職員進路研修会を実施しています。今年度は、6か所の事業所見学を計画していましたが、半導体不足や新型コロナウイルス感染症拡大の影響でキャンセルがあり、3か所の実施となりました。また、浜松市の相談支援センターについての研修会も実施しました。

そこで、今回は、見学先の様子や、相談支援センターの役割についてお知らせします。

### 学校法人 倉橋学園 キラリ高等学校 浜松スクーリング会場

令和3年度は、全日制、定時制共に学校数も生徒数も減少しましたが、通信制は学校数も生徒数も増加しています。通信制高校の多くは、「広域通信制」ですが、キラリ高等学校は静岡県在住の人のみ募集する「狭域通信制」です。

- ・教育理念は、「働く人」を目指し、法人に就労移行支援事業所もあります。
- ・浜松スクーリング会場は、浜松駅近くの新築の建物です。
- ・学ぶスタイルには、「通学タイプ」と「通信タイプ」があり、生徒のほとんどが「通学タイプ」を選んでいます。
- ・通学タイプには、平日週3日または5日があり、通常授業と学校が定めるスクーリングを受けます。
- ・レポート提出、スクーリング、テスト(前期・後期)を経て単位取得となります。(74単位取得必須)
- ・制服はありますが、着用は自由なので、私服で登校することもできます。

## 敬愛義塾高等学院明蓬館 SNEC 浜松南

明蓬館高等学校(本校:福岡県川崎町)の通信制サポート校です。(全国で20数校設置)

- ・令和2年4月1日に開設されました。進学コースと基礎コースがあり、高等学校の卒業資格が3年間で得られます。各科目の評価や単位認定は、ペーパーテストとマイプロ(自由研究)で決まります。
- ・授業日は、月、火、木、金曜日の4日間で、午前10時に登校し、午前2時間、午後2時間授業があります。「動画→テスト→評価(合格)」がセットで各科目の授業を進めます。
- ・放課後と水、土曜日は放課後等デイサービス(サンスマイルアカデミー)の利用時間となっています。その時間を利用して、eスポーツ部の活動や、マイプロの体験活動(フィールドワーク)などを実施しています。
- ・全員が放課後等デイサービスを利用し、計画(特定)相談支援事業所と関わりがあるため、進路決定の際に連携しやすくなります。
- ・校舎は、2階建ての建物で、2階に2教室あり、1階の教室では一人1台貸与されたパソコンとヘッドホン、各自のブース、カラーボックスなどのスペースを、好きなように利用しています。(現在の在籍者17人)

## NPO 法人えんしゅう生活支援 net 就労継続支援 B 型事業所 ワークセンターふたば (LaLaCafe)

えんしゅう生活支援 net の運営する2つの事業所についてお話を伺いました。

### 1 ワークセンターふたば (LaLaCafe)

- ・午前の部は 9:30~11:30、午後の部は 13:30~15:30。就労見通しの立っている方は、時間延長をすることもできます。
- ・作業、訓練の内容は、①カフェの開店作業、閉店作業(清掃)②自社農園での農園作業(週2~3回、作物は Cafe で出したり販売したりします。)③事務補助作業(マスクケース、農作物販売用の新聞再利用バッグ等の作成)④運動プログラム、職業準備講座、季節のイベントなどです。
- ・利用者は、男性3割、女性7割で、20~40代の方が多く、障害種別は①精神②高次脳機能障害③知的障害の順で多くなっています。
- ・サポートの特徴として、就職支援(履歴書作成支援、面接練習、ハローワーク同行、就労定着支援)、関係機関との連携(医療機関、障害者相談支援事業所等)、スタッフの専門知識(作業療法士、公認心理士、栄養士、調理師、ジョブコーチなど)があります。

### 2 ワークセンター大きな木

- ・「ぷらす」という塾を展開し、大人の発達障害者への就労支援・学習支援をしています。早期(小学校低学年ころ)から働くためのスキル獲得やキャリア教育が大切と考えています。
- ・サポート内容については、作業療法士や心理士など専門職がアセスメントを行い、個々の必要なスキルに合わせたプログラムを提案します。
- ・現時点では、高校生からサポートを受けることができます。大学や専門学校などの最終学年で就労希望の生徒は、就労移行支援として福祉サービスでの利用も可能です。(手帳や医師の診断書が必要)

## 障がい者相談支援センター \*浜北・天竜障がい者相談支援センターの講話より

障がい者相談支援センターは、障害(疑いを含む)に関する総合相談窓口(なんでも相談)です。

浜松市は、「中」「東」「西・南」「北」「浜北・天竜」の5つのエリアにセンターがあり、対象地域の当事者、家族、関係者(行政、事業所、医療機関、親族、住民等)が相談できます。「シグナル」は各センターと協働福祉サービスを利用する場合は、サービスの利用計画を作成する「計画(特定)相談支援事業所」が主な支援者になりますが、利用できなくなっても、センターと連携して、当事者が孤立しないようになっています。